

社会資本総合整備計画 事後評価書

計画の名称	物流拠点等へのアクセス向上による生産性の強化											
計画の期間	平成29年度～令和03年度(5年間)											重点配分対象の該当 <input checked="" type="checkbox"/>
交付対象	大阪府											
計画の目標	物流・製造拠点や鉄道新駅等とのアクセス機能を強化することにより、「物流拠点立地の支援」、「地域経済の活性化」、「物流や人流の円滑化」などを図るものである。											
全体事業費(百万円)	合計(A+B+C+D)	3,100	A	3,100	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C/(A+B+C+D)	0%

番号	計画の成果目標(定量的指標)				定量的指標の現況値及び目標値			
	定量的指標の定義及び算定式				当初現況値	中間目標値	最終目標値	
					(H29当初)	(H31末)	(H33末)	
1	物流拠点等へのアクセス所要時間の短縮							
	物流拠点等へのアクセス所要時間の短縮				0分	0分	8分	
2	渋滞損失を削減							
	交差点需要率の改善				87%	87%	78%	

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靭化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-



## 事後評価

### 事後評価の実施体制、実施時期

事後評価の実施体制

大阪府道路室で評価を実施

### 事後評価の実施時期

令和3年4月

### 公表の方法

大阪府ホームページに掲載

### 事業効果の発現状況

定量的指標に関連する  
交付対象事業の効果の発現状況

物流拠点等へのアクセス所要時間の短縮や交差点需要率の改善に向け事業実施中

定量的指標以外の交付対象事業の  
効果の発現状況（必要に応じて記述）

### 特記事項（今後の方針等）

令和2年度より「ストック効果を重視したアクセス道路の整備による地域・拠点の連携強化」に移行した。  
物流拠点等へのアクセス所要時間の短縮や交差点需要率の改善に向け引き続き事業進捗を図る。

目標値の達成状況			
番号	指標（略称）		
	目標値 / 実績値	目標値と実績値に差が出た要因	
1	最終目標値	8分	令和2年度より「ストック効果を重視したアクセス道路の整備による地域・拠点の連携強化」に移行
	最終実績値	0分	
2	最終目標値	78%	令和2年度より「ストック効果を重視したアクセス道路の整備による地域・拠点の連携強化」に移行
	最終実績値	87%	